

---

# 富山市市外住民アンケート

## 報告書

---

平成27年9月

## 目次

1. 調査概要 .....	1
2. 回答者の属性 .....	2
3. 富山市への訪問について .....	5
4. 地方での居住について .....	18
5. 北陸および富山市への居留意向 .....	23
<参考資料> 富山市市外住民アンケート設問一覧 .....	32

## 1. 調査概要

富山市における総合計画および地方創生に向けた総合戦略の策定に際し、以下の要領でアンケート調査を実施した。

- 調査名：富山市市外住民アンケート
- 実施方法：Webアンケート
- 実施期間：平成27年7月31日(金)～平成27年8月3日(月)
- 対象者：首都圏に住む男性500人、女性500人  
関西圏に住む男性500人、女性500人  
年齢構成：首都圏、関西圏ともに下記の年齢構成で男女100人ずつ  
・20-29歳／・30-39歳／・40-49歳／・50-59歳／・60-69歳
- 抽出方法：富山市への訪問意向や富山市での居住に対する意向を把握する際、富山市の特徴や地域性について具体的にイメージしながら回答できる人を対象とするために、以下の条件を設定し、アンケート調査の対象者を抽出した。
  - ・設問：「あなたはこれまでに富山県を訪れたことがありますか」（単回答）
  - ・選択肢：① 以前住んでいたことがある（親族含む）  
② 訪れたことがある  
③ 訪れたことはないが、位置を知っている  
④ 訪れたことはないし、あまりよく知らない
  - ・条件：選択肢のうち、①あるいは②を選択した人

※グラフ中の数値は、四捨五入の関係で、合計が必ずしも100%にならないことがある。

## 2. 回答者の属性

- 回答者の年代・性別については、それぞれの割合が均等となるような対象者の抽出を行った。
- 婚姻の状況を見ると、既婚・死別・離別を合わせて約66%の人が結婚の経験がある。
- 子どもの有無を見ると、「子どもがいる」と「子どもはいない」の割合は約半数ずつとなっている。

Q1. 年齢（単回答）

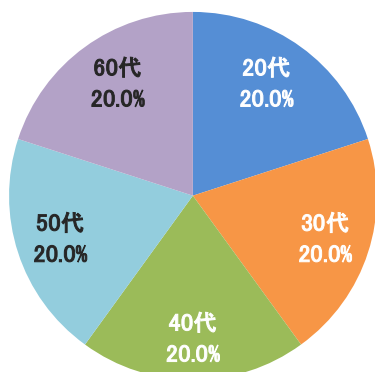


図 2-1 現在の年齢（回答者数：2,000名）

Q2. 性別（単回答）

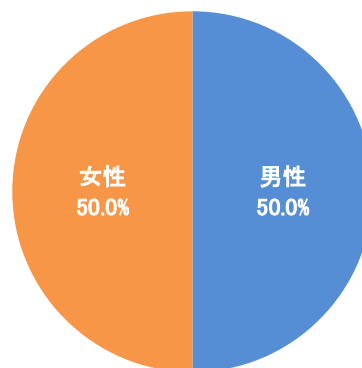


図 2-2 性別（回答者数：2,000名）

Q3. 婚姻の状況（単回答）

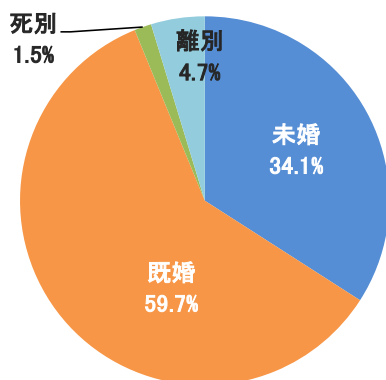


図 2-3 婚姻の状況（回答者数：2,000名）

Q4. 子どもの有無（単回答）

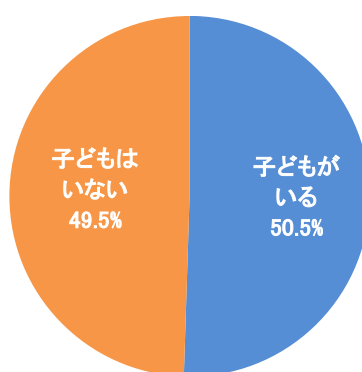


図 2-4 子どもの有無（回答者数：2,000名）

- 現在の居住地は、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）と関西圏（京都府、大阪府、兵庫県）の回答者が同じ割合となるように抽出を行った。
- 現在の居住地を限定しているため、出身地も東京圏と関西圏に多く分布している。

Q5. 現在の居住地（単回答）

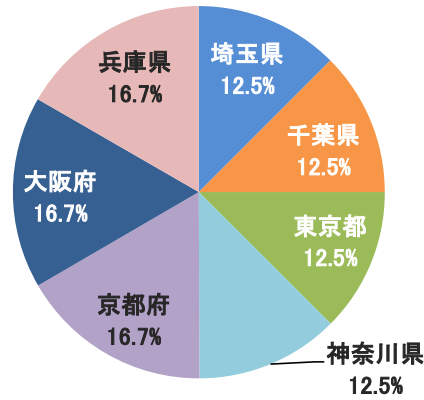


図 2-5 現在の居住地（回答者数：2,000名）

Q6. 出身地（単回答）

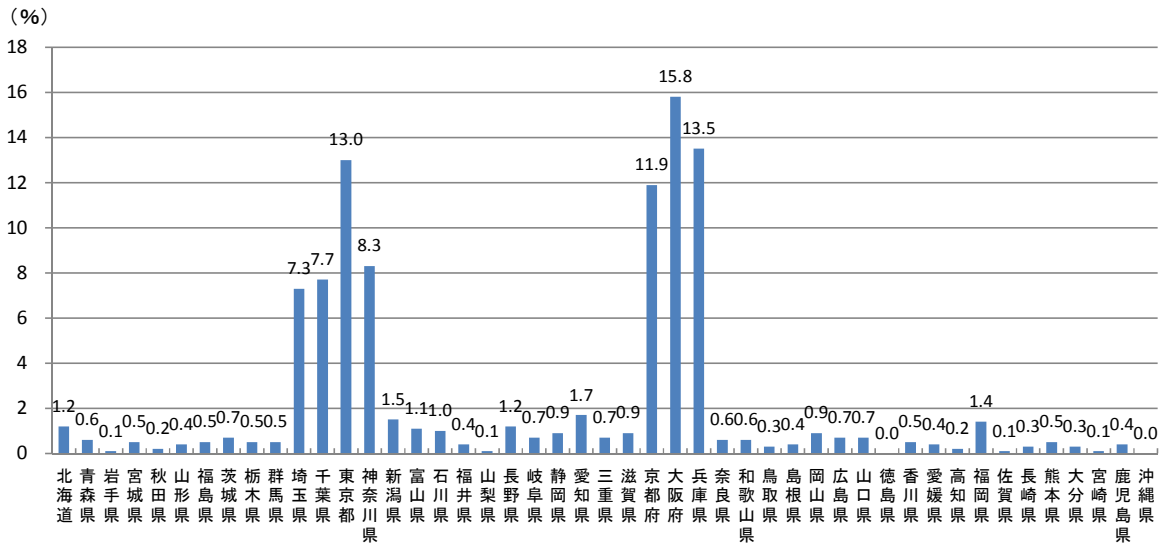


図 2-6 出身地（回答者数：2,000名）

- 就業の状況を見ると、「会社員、公務員、団体職員」が41.7%と最も多く、ついで「専業主婦（夫）」が18.9%、「パート・アルバイト」が11.5%の順となっている。
- 「会社員、公務員、団体職員」や「派遣社員、契約社員」、「自営業」、「パート・アルバイト」を合わせると、現在働いている人は全体の約65%を占めている。
- 現在の同居者では、「配偶者」が57.9%と最も多く、次いで「子ども」が35.3%、「親」が24.9%の順となっている。一方、一人暮らしも18.4%いる。

Q7. 就業の状況（単回答）

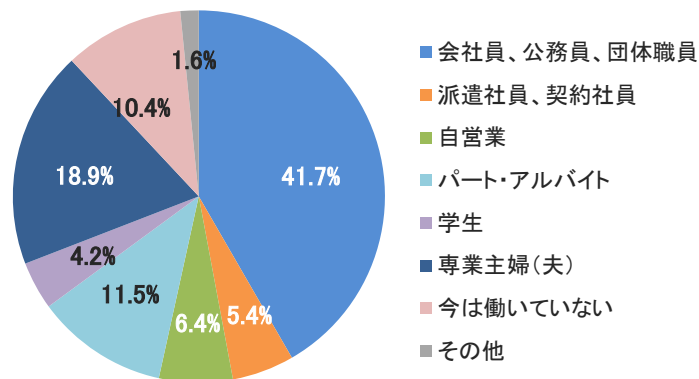


図 2-7 就業の状況（回答者数：2,000名）

Q8. 現在の同居者（複数回答）

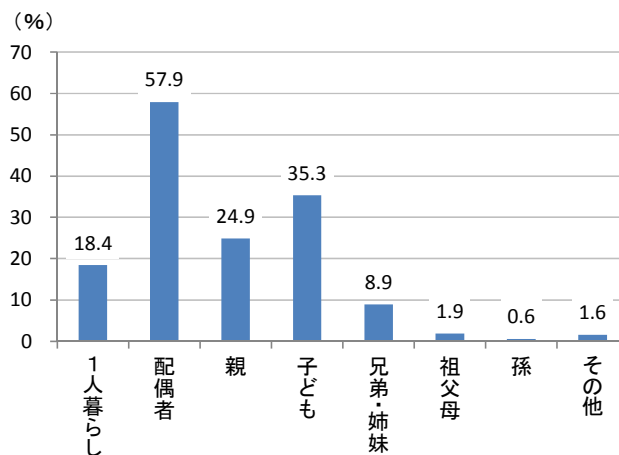


図 2-8 同居者（回答者数：2,000名）

### 3. 富山市への訪問について

- 富山市の訪問経験を見ると、「1回訪れたことがある」が約半数を占めており、最も多い。次いで「2～3回訪れたことがある」、「4回以上訪れたことがある」の順に多くなっている。
- アンケート調査の対象者を抽出するにあたって、富山県に以前住んでいたことがある（親族含む）及び富山県を訪れたことがある人を抽出しているため、一般の人に比べて訪問経験があると回答した割合は高いと見込まれる。
- 1回以上訪れたことがあると回答した人に対し、主な訪問目的について聞いたところ、「観光」が70.2%と最も多く、次いで「仕事の関係」が15.7%となっている。

#### Q9. 富山市を訪れたことがあるか（単回答）

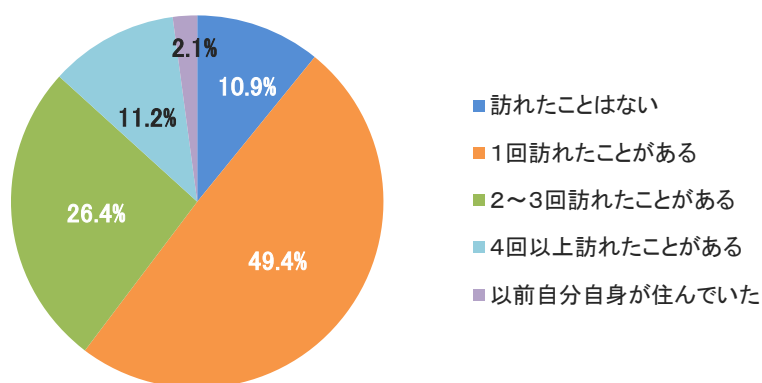


図 3-1 富山市を訪れたことがあるか（回答者数：2,000名）

#### Q10. 主な来訪目的（単回答）

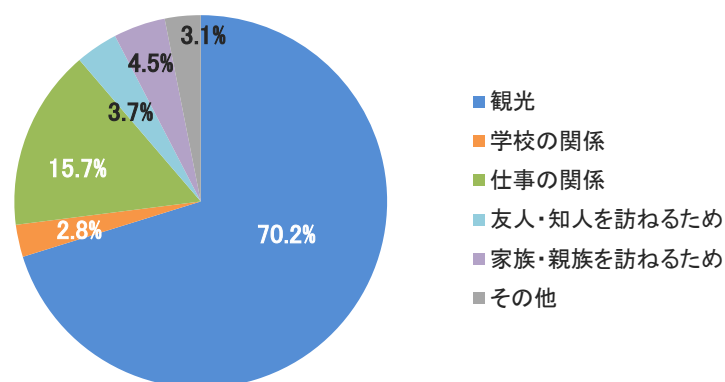


図 3-2 主な来訪目的（回答者数：2,000名）

- 富山市に対するイメージについて、項目ごとに「そう思う」、「特にイメージはない」、「そう思わない」の3段階評価を求めた。
- 「そう思う」イメージとしては「自然が豊かで空気や水がおいしい」、「農・漁業資源が豊かである」、「観光資源が豊富で見どころが多い」の順に高くなっており、特に自然に関する資源の認知が高いことが分かった。
- 一方、「そう思わない」イメージとしては、「公共交通が便利である」、「空港や新幹線などが利用しやすい」、「日常の買い物などが便利である」など、生活利便性に対する評価が低くなっている。

Q11. 富山市に対するイメージ（単回答）

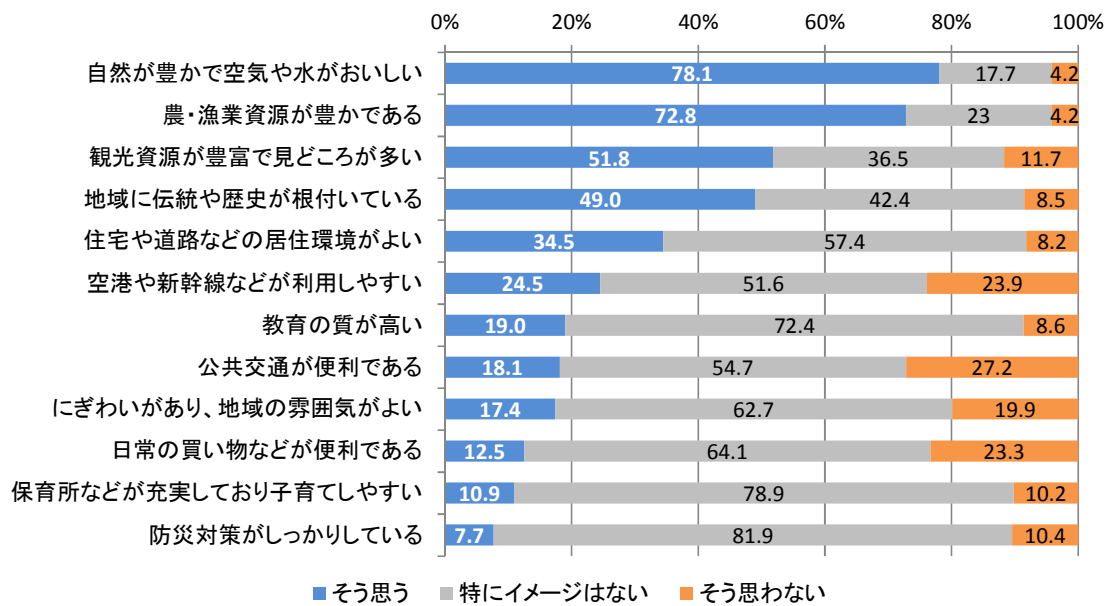


図 3-3 富山市に対するイメージ（回答者数：2,000名）



- 今後の富山市への訪問意向を見ると、「ぜひ行ってみたい」、「機会があれば行ってみたい」を合わせて約80%の人が富山市を訪問したいと考えている。

Q12. 今後の富山市への訪問意向（単回答）

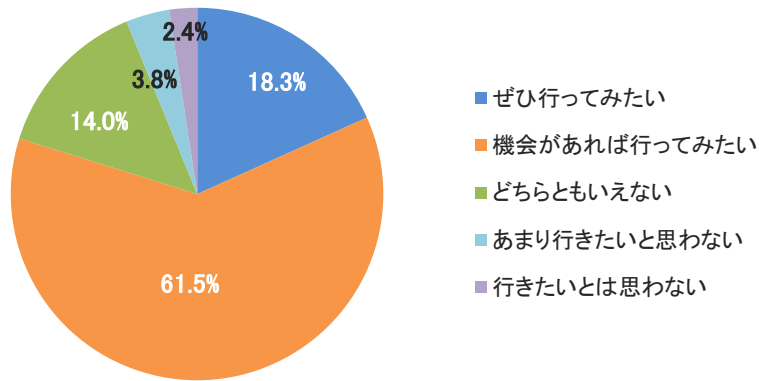


図 3-4 今後の富山市への訪問意向（回答者数：2,000名）

- 年代別に今後の富山市への訪問意向を見ると、全ての年代で「ぜひ行ってみたい」、「機会があれば行ってみたい」の割合が約80%と高い傾向がある。
- 「ぜひ行ってみたい」と回答した人の割合は、若年層ほど高い傾向がある。

【年代別】今後の富山市への訪問意向

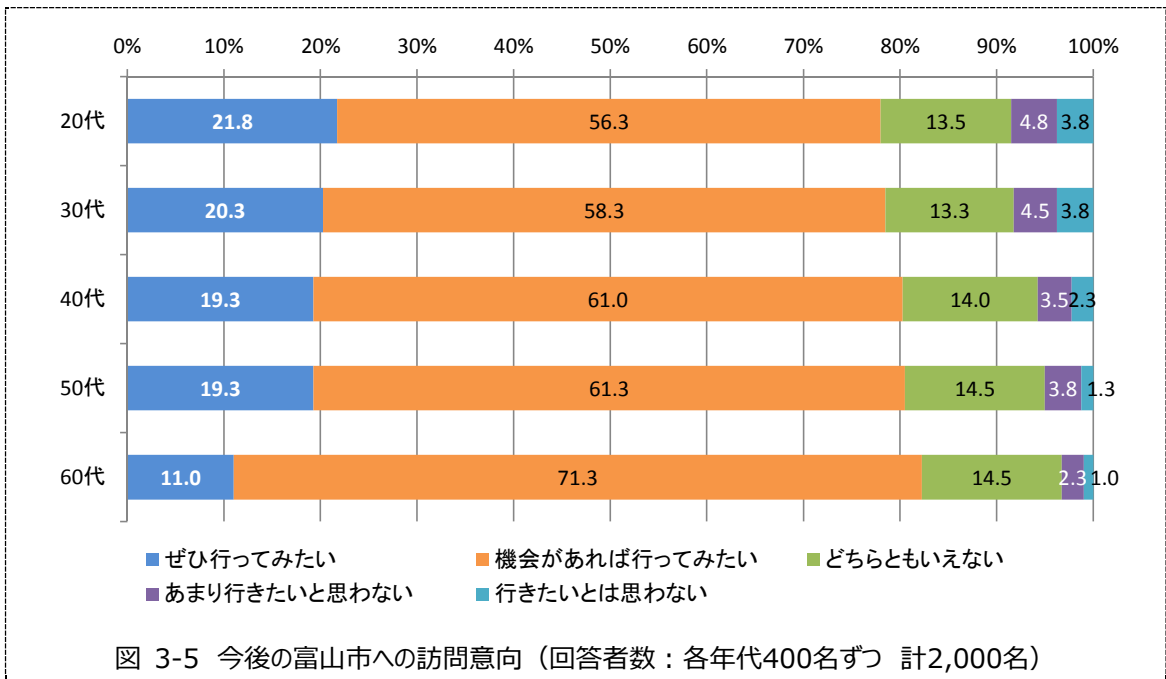
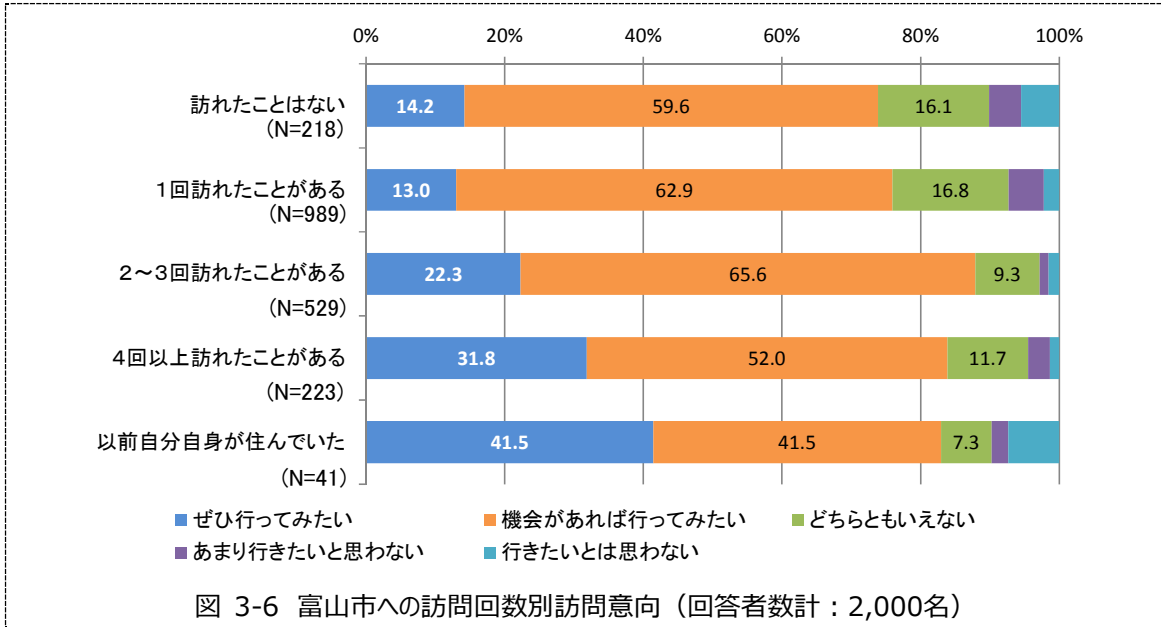


図 3-5 今後の富山市への訪問意向（回答者数：各年代400名ずつ 計2,000名）

- 富山市への訪問経験別に今後の富山市への訪問意向を見ると、「ぜひ行ってみたい」と回答した人の割合は「以前自分自身が住んでいた」人で最も高く、訪問回数が増えるほど高まる傾向がある。

【富山市への訪問経験別】今後の富山市への訪問意向



- Q12にて、富山市に「ぜひ行ってみたい」、「機会があれば行ってみたい」、「どちらでもない」と回答した人を対象として、富山市を訪問した際に訪れたい場所を聞いたところ、「自然（山、高原）」や「温泉」、「自然（海、海岸）」など、自然を生かした観光資源に対する訪問意向が高くなっている。

Q13. 富山市を訪問した際に、訪れたい場所 (複数回答)

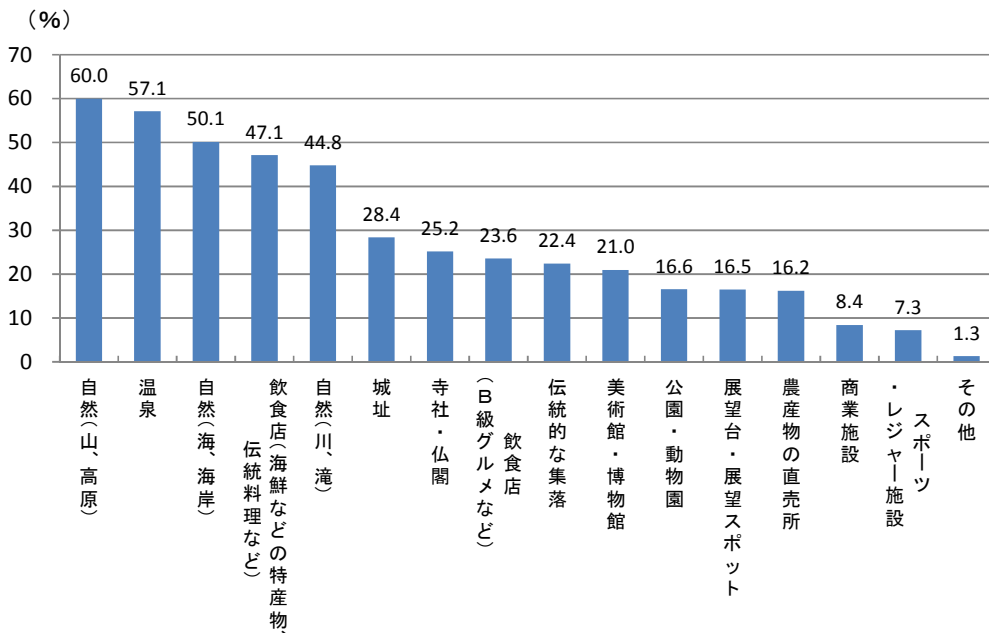


図 3-7 富山市を訪問した際に、訪れたい場所 (回答者数：1,598名)

- 年代別に、富山市を訪問した際に訪れたい場所を見ると、**いずれの年代でも自然に関する観光資源（「自然（山、高原）」、「自然（川、滝）」、「自然（海、海岸）」、「温泉）」や「飲食店（海鮮などの特産物、伝統料理など）」の回答割合が高くなっている。**
- 年代が上がるほど、自然に関する観光資源の回答割合が高い。

【年代別】富山市を訪問した際に、訪れたい場所

[20代]

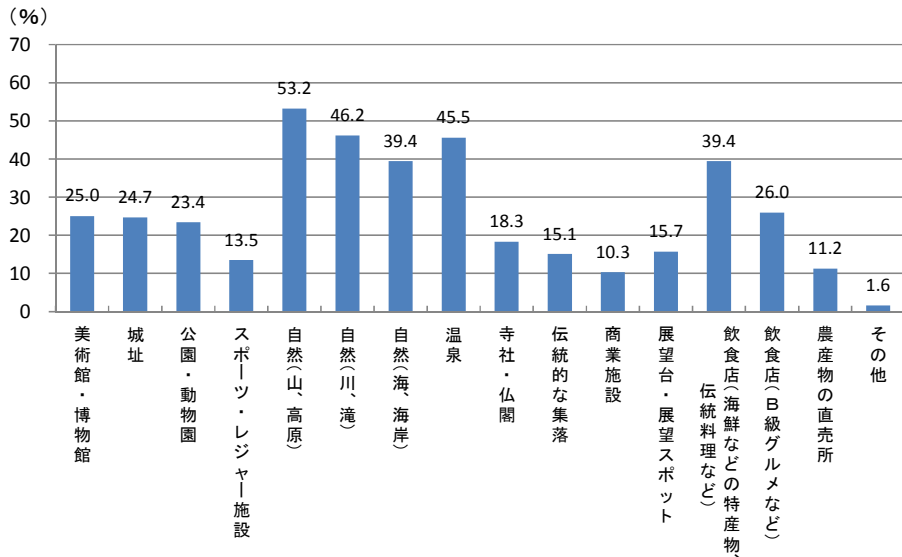


図 3-8 富山市を訪問した際に、訪れたい場所 [20代] (回答者数 : 312名)

[30代]

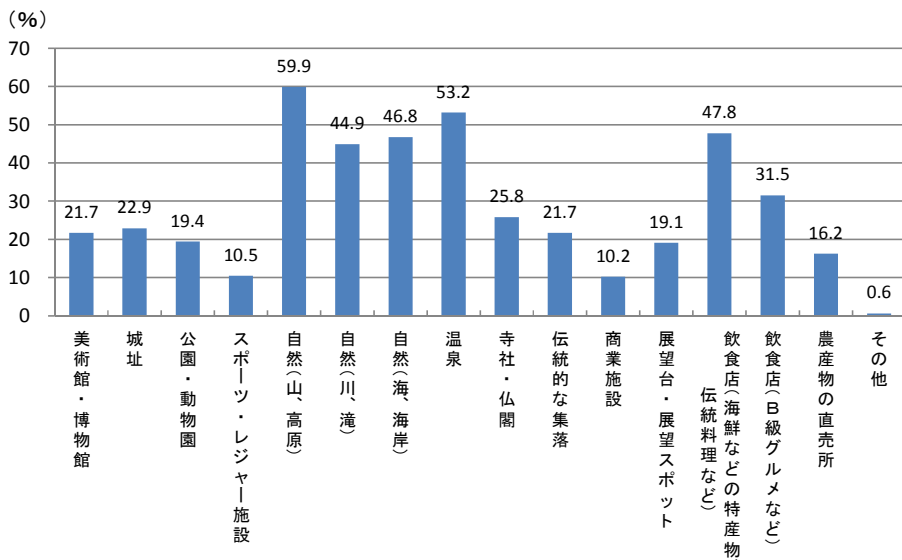


図 3-9 富山市を訪問した際に、訪れたい場所 [30代] (回答者数 : 314名)

【年代別】富山市を訪問した際に、訪れたい場所

[40代]

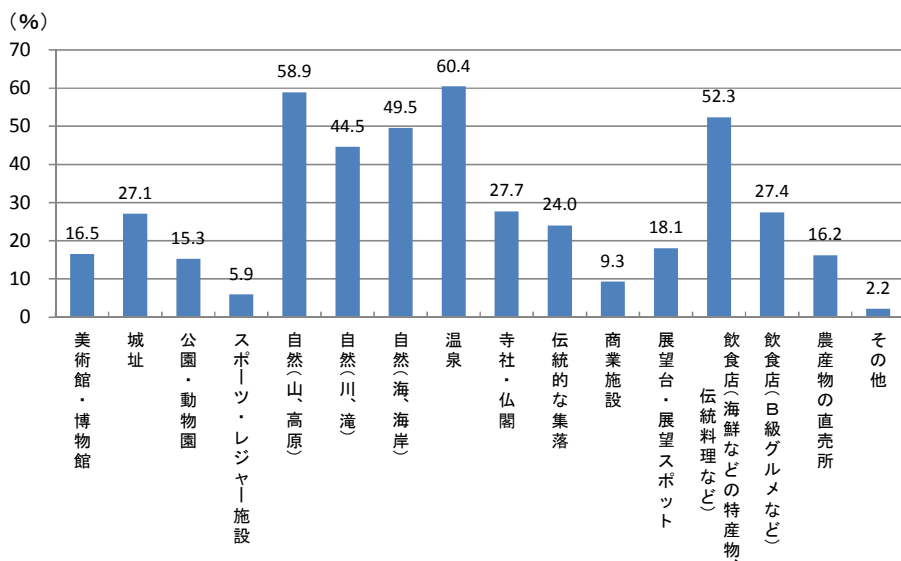


図 3-10 富山市を訪問した際に、訪れたい場所 [40代] (回答者数：321名)

[50代]

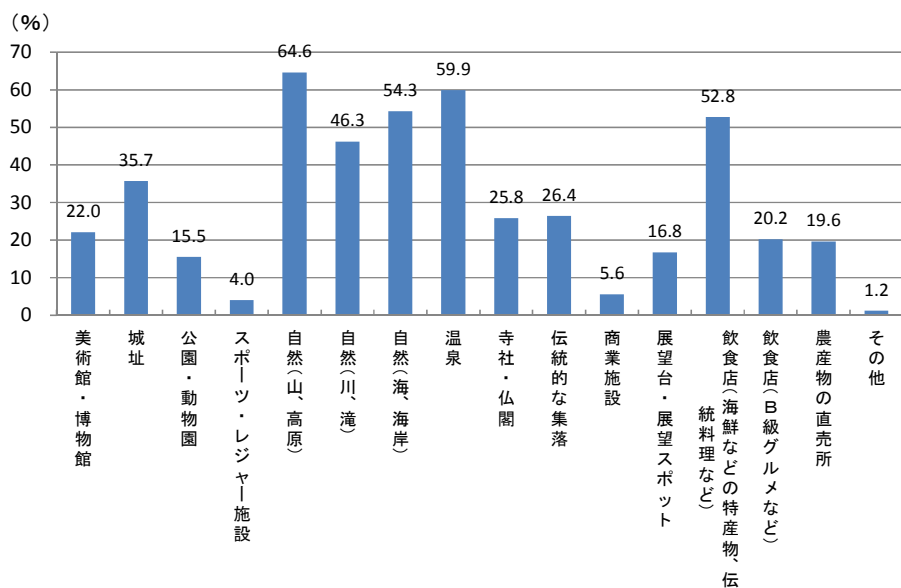


図 3-11 富山市を訪問した際に、訪れたい場所 [50代] (回答者数：322名)

【年代別】富山市を訪問した際に、訪れたい場所

[60代]

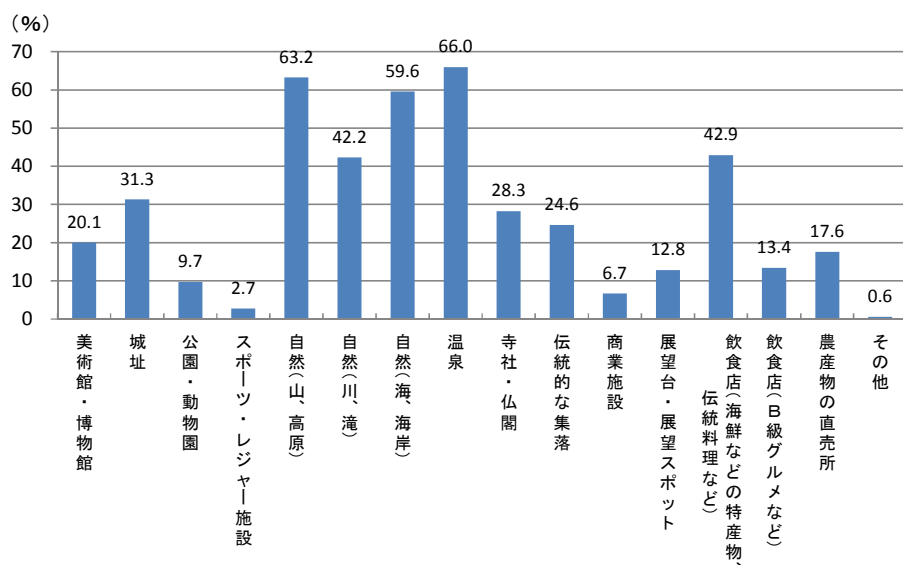
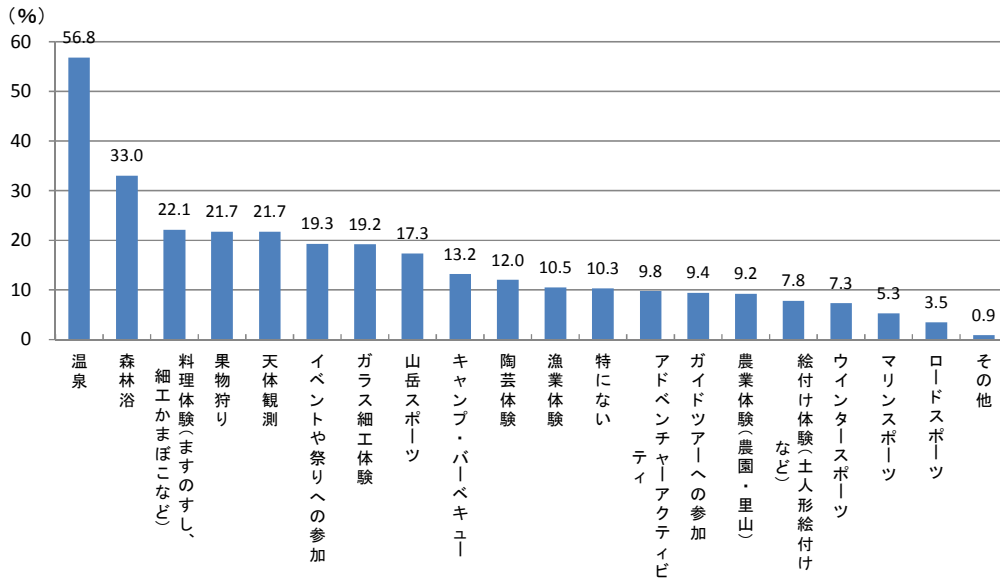


図 3-12 富山市を訪問した際に、訪れたい場所 [60代] (回答者数 : 329名)

- Q12にて、富山市に「ぜひ行ってみたい」、「機会があれば行ってみたい」、「どちらでもない」と回答した人を対象として、富山市を訪問した際に、体験してみたいことを聞いたところ、「**温泉**」が**56.8%**と最も多く、次いで「**森林浴**」、「**料理体験（ますのすし、細工かまぼこなど）**」の順となっている。

Q14. 富山市を訪問した際に、富山市で体験してみたいこと（複数回答）



注) アドベンチャーアクティビティ：ジップラインアドベンチャー立山、ラフティング  
 ウィンタースポーツ：スキー、スノーボード等  
 マリンスポーツ：ヨット、ジェットスキー等  
 ロードスポーツ：マラソン、サイクリング

図 3-13 富山市を訪問した際に、富山市で体験してみたいこと（回答者数：1,598名）

- 年代別に、富山市を訪問した際に体験してみたいことを聞いたところ、いずれの年代でも「温泉」や「森林浴」などの回答割合が高い。
- このほか、**若年層では「ガラス細工体験（吹きガラスなど）」、「果物狩り」、「料理体験（ますのすし、細工かまぼこなど）」が、40代以上の年代では「イベントや祭りへの参加」の割合が高い傾向がある。**

【年代別】富山市を訪問した際に、体験してみたいこと

[20代]

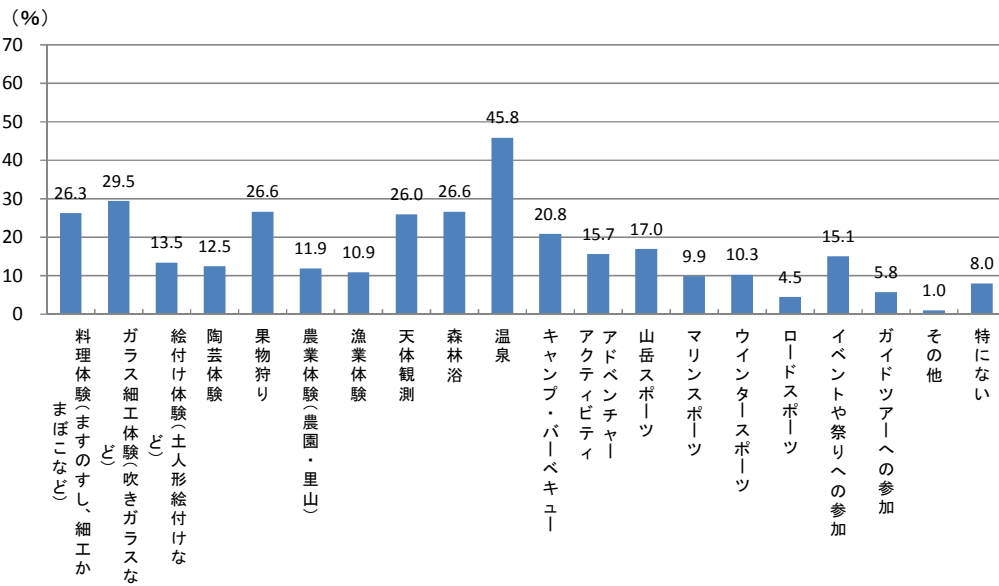


図 3-14 富山市を訪問した際に、体験してみたいこと [20代] (回答者数 : 312名)

[30代]

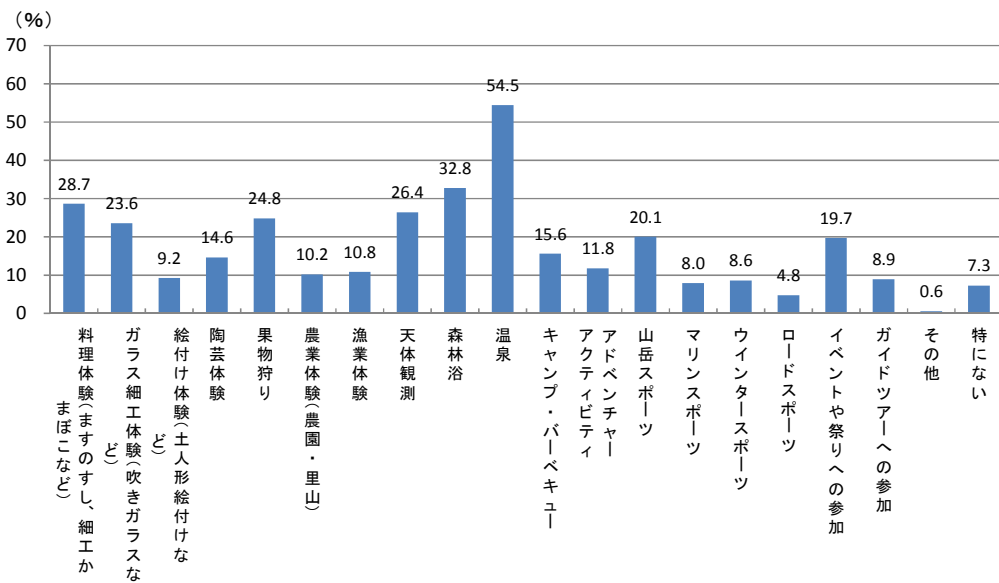


図 3-15 富山市を訪問した際に、体験してみたいこと [30代] (回答者数 : 314名)

【年代別】富山市を訪問した際に、体験してみたいこと

[40代]

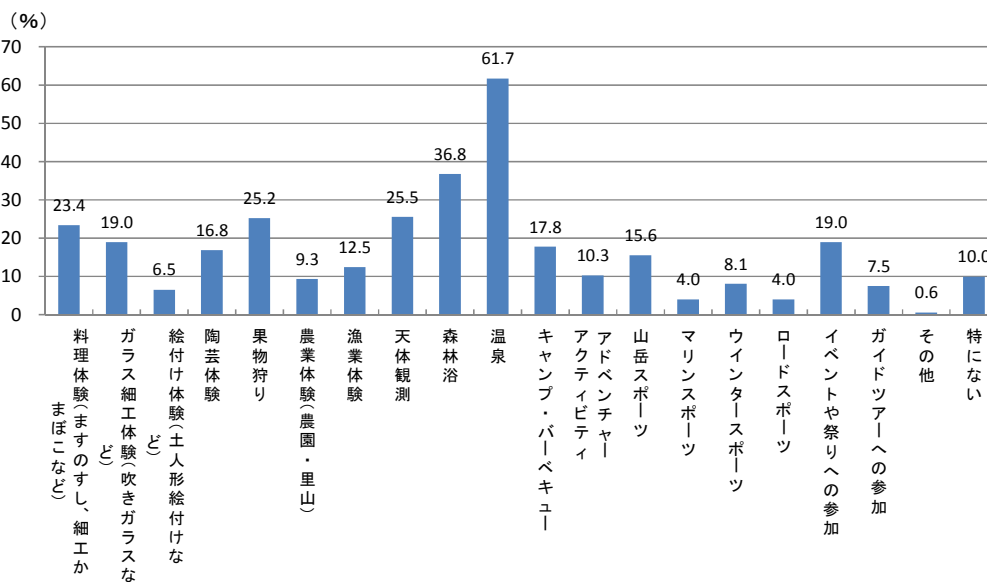


図 3-16 富山市を訪問した際に、体験してみたいこと [40代] (回答者数 : 321名)

[50代]

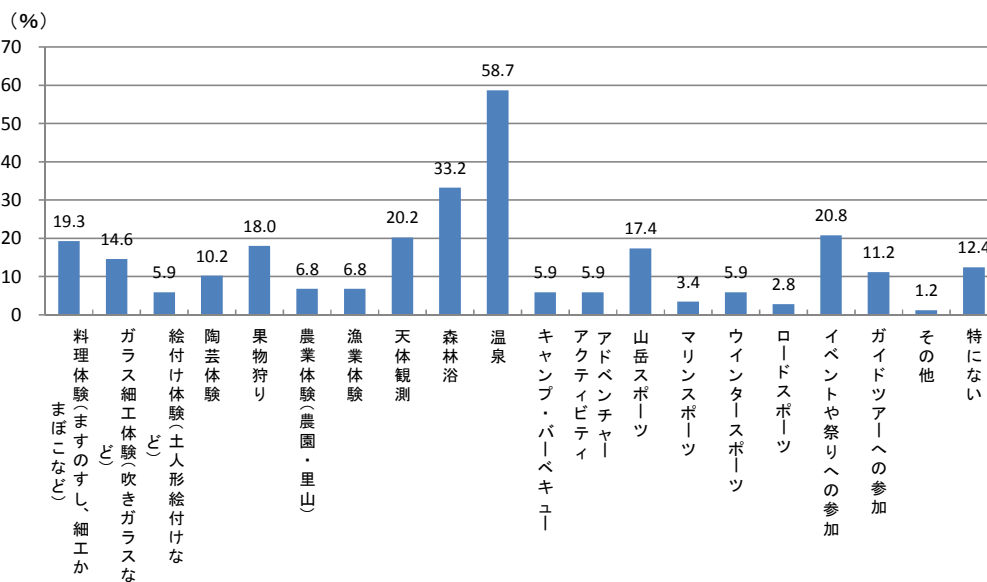


図 3-17 富山市を訪問した際に、体験してみたいこと [50代] (回答者数 : 322名)



【年代別】富山市を訪問した際に、体験してみたいこと

[60代]

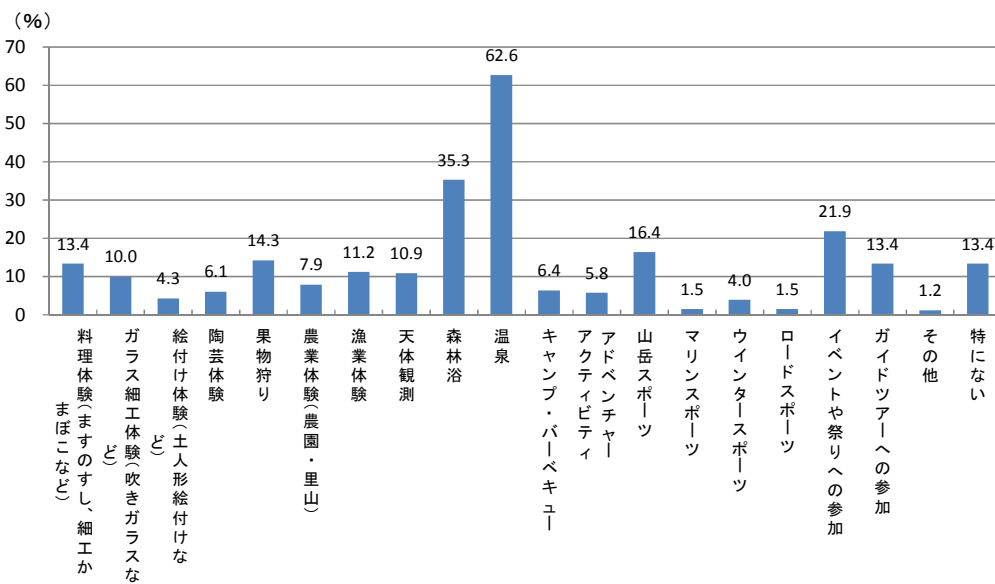


図 3-18 富山市を訪問した際に、体験してみたいこと [60代] (回答者数 : 329名)

- 富山市までの移動で利用するつむりの交通手段を聞いたところ、「鉄道・新幹線」が83.6%と最も多くなっている。最も主要な交通手段では、「鉄道・新幹線」が61.5%、「自動車」が28.8%と多い。
- 現在の居住地別に最も主要な交通手段を見ると、東京圏居住者では「鉄道・新幹線」や「飛行機」の利用意向が、関西圏では「自動車」の利用意向が、それぞれと比べて高くなっている

Q15. 富山市までの移動で利用するつむりの 主要な交通手段（単回答）	Q16. 富山市までの移動で利用するつむりの <u>最も</u> 主要な交通手段（単回答）
--	--

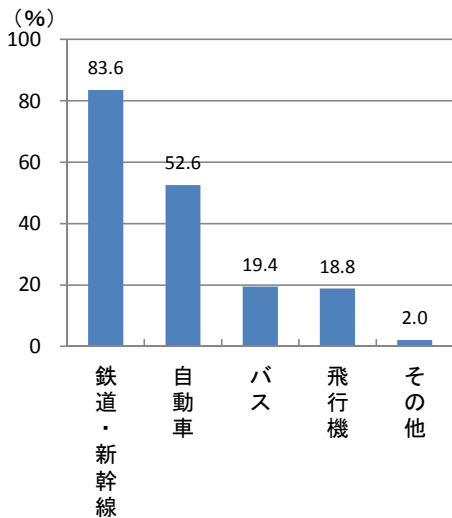


図 3-19 富山市までの移動で利用するつむりの主要な交通手段（回答者数：1,598名）

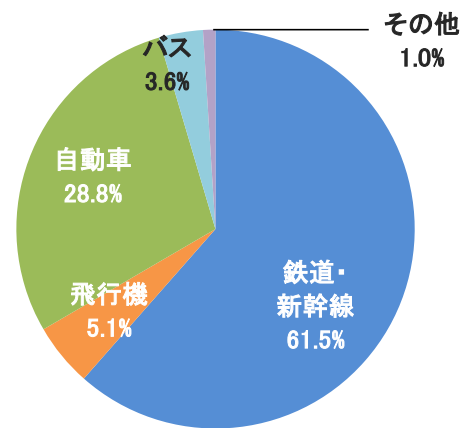


図 3-20 富山市までの移動で利用するつむりの最も主要な交通手段（回答者数：1,598名）

【居住地別】富山市までの移動で利用するつむりの最も主要な交通手段

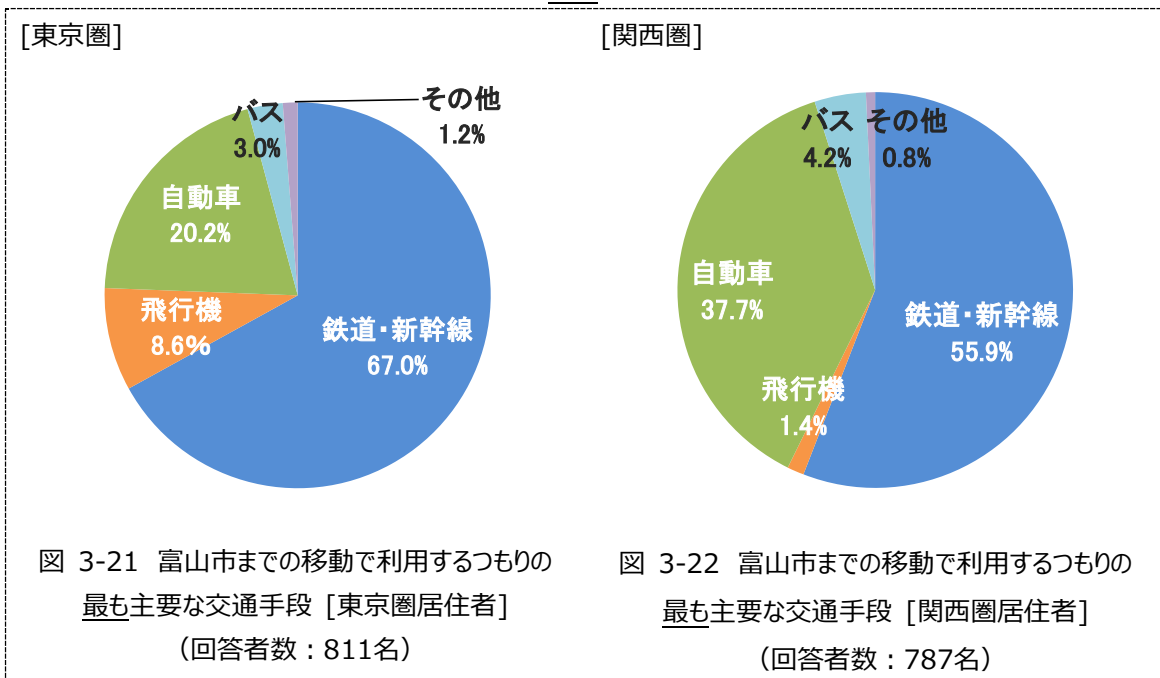


図 3-21 富山市までの移動で利用するつむりの最も主要な交通手段 [東京圏居住者]（回答者数：811名）

図 3-22 富山市までの移動で利用するつむりの最も主要な交通手段 [関西圏居住者]（回答者数：787名）

- 北陸新幹線の開業による富山市への訪問意向の変化を聞いたところ、「行きたい気持ちが強まった」よりも「気持ちに変化はなかった」と回答した人の割合が高かった。
- 居住地別に北陸新幹線の開業による富山市への訪問意向の変化を見ると、**関西圏居住者よりも東京圏居住者の方が「行きたい気持ちが強まった」と回答した人の割合が高くなっている。**

Q17. 北陸新幹線の開業による富山市への訪問意向の変化（単回答）

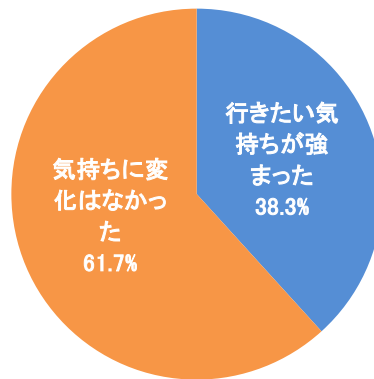


図 3-23 北陸新幹線の開業による富山市への訪問意向の変化（回答者数：2,000名）

【居住地別】北陸新幹線の開業による富山市への訪問意向の変化

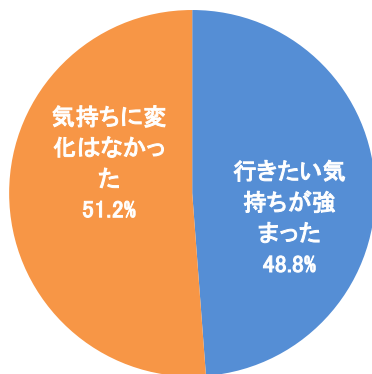


図 24 北陸新幹線の金沢開業による富山市への訪問意向の変化 [東京圏居住者]  
(回答者数：1,000名)

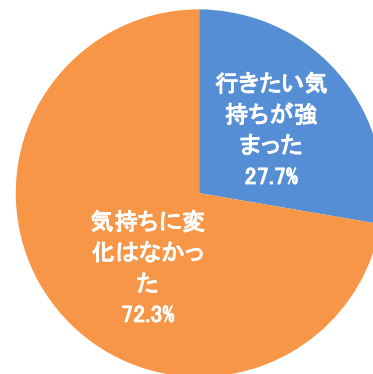


図 25 北陸新幹線の金沢開業による富山市への訪問意向の変化[関西圏居住者]  
(回答者数：1,000名)

#### 4. 地方での居住について

- 複数の地域を行き来しながら暮らす、多地域居住（マルチハビテーション）についての意向を聞いたところ、「検討している・検討したい」、「関心がある」を合わせて**約35%の人が、多地域居住をする意向があると回答している。**
- 年代別に見ると、若年になるほど「検討している・検討したい」、「関心がある」の割合が高く、高齢になるほど「あまり関心はない」と回答した人の割合が高まる傾向がある。但し、**いずれの年代においても25～40%程度の人が多地域居住をする意向があると回答しており、移住・定住施策のターゲットとして想定される。**

Q18. 多地域居住（マルチハビテーション）についての意向（単回答）

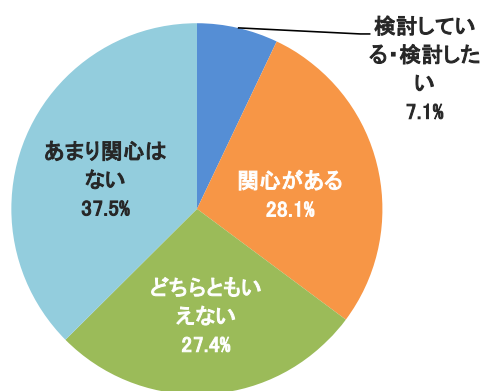


図 4-1 多地域居住についての意向（回答者数：2,000名）

【年代別】多地域居住についての意向

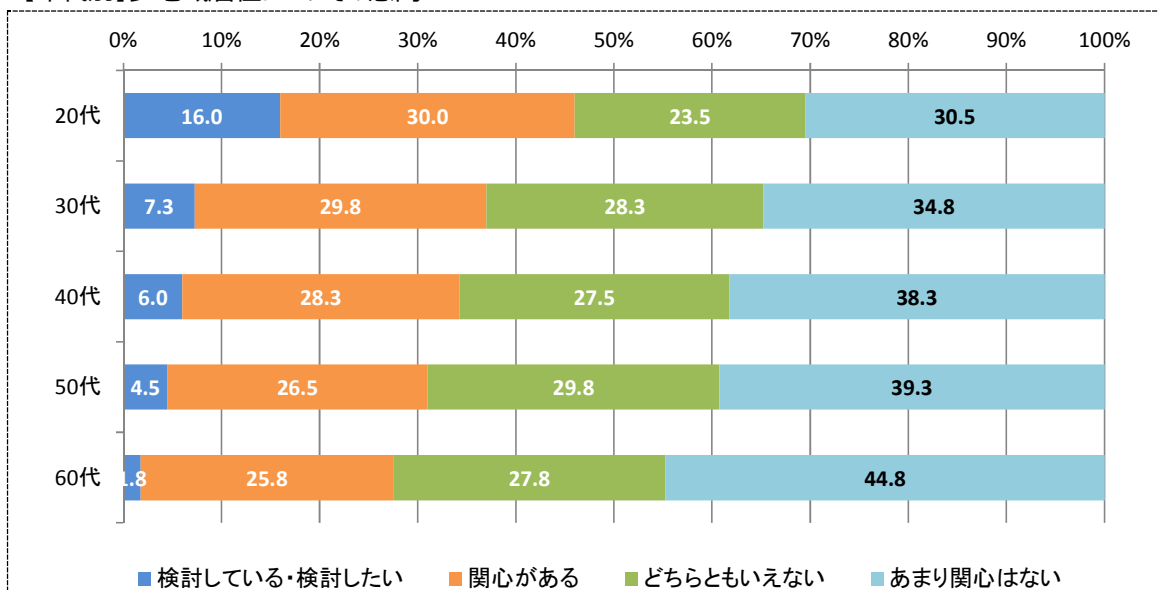


図 4-2 年代別 多地域居住についての意向（回答者数：各年代400名ずつ 計2,000名）

- 多地域居住も含めた地方への居住について意向を聞いたところ、「検討している・検討したい」、「関心がある」と回答した人の割合は約34%程度と、Q18の多地域居住への意向と同等となっている。
- 年代別に見ると、若年の特に20代において「検討している・検討したい」、「関心がある」の割合が高くなっている。

Q19. 多地域居住も含めた地方への居住について（単回答）

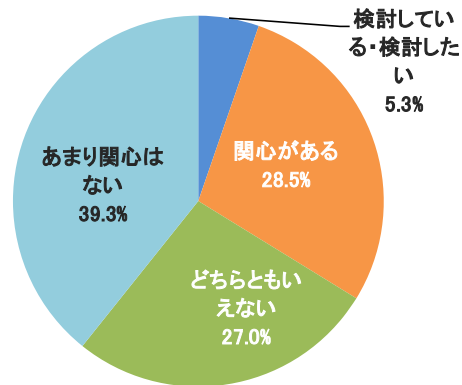


図 4-3 多地域居住も含めた地方への居住についての意向（回答者数：2,000名）

【年代別】多地域居住も含めた地方への居住についての意向

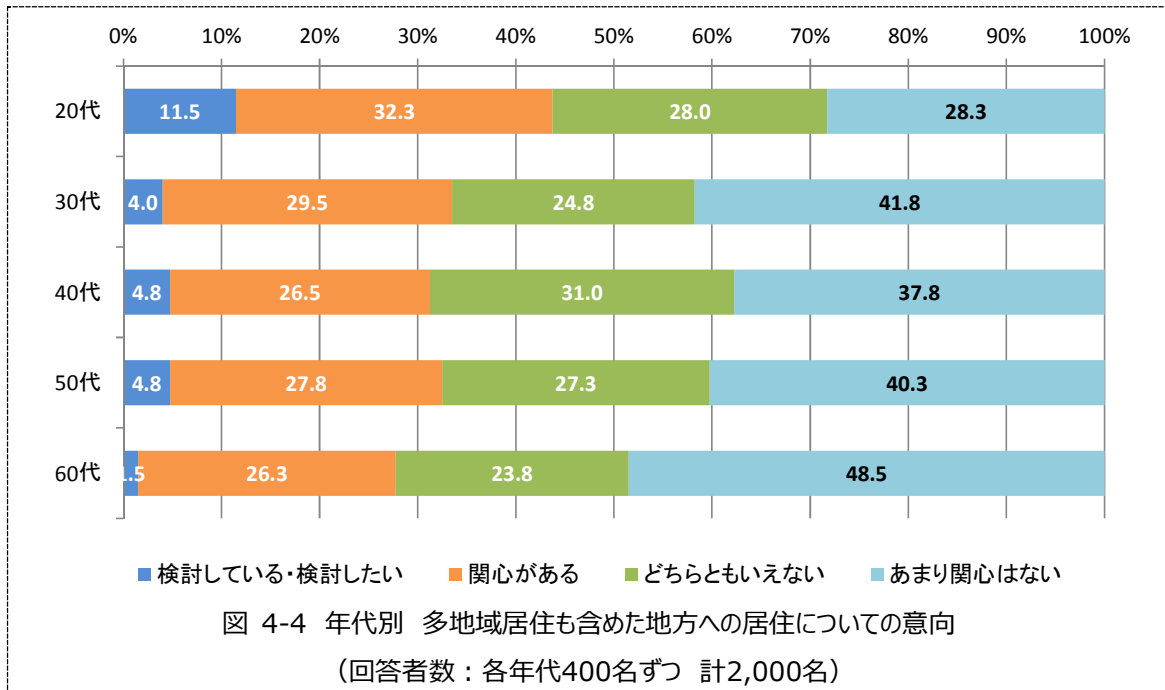


図 4-4 年代別 多地域居住も含めた地方への居住についての意向

（回答者数：各年代400名ずつ 計2,000名）

- Q19において、「検討している」、「関心がある」、「どちらともいえない」と回答した人を対象に、地方への居住を考えた場合に住みたい地域を聞いたところ、「これまでに住んだことのない地域」が36.5%と最も多く、次いで「出身地」が21.5%、「これまでに住んだことがある地域の近く（近隣の県など）」が19.9%となっている。

Q20. 地方への居住を考えた場合に住みたい地域（単回答）

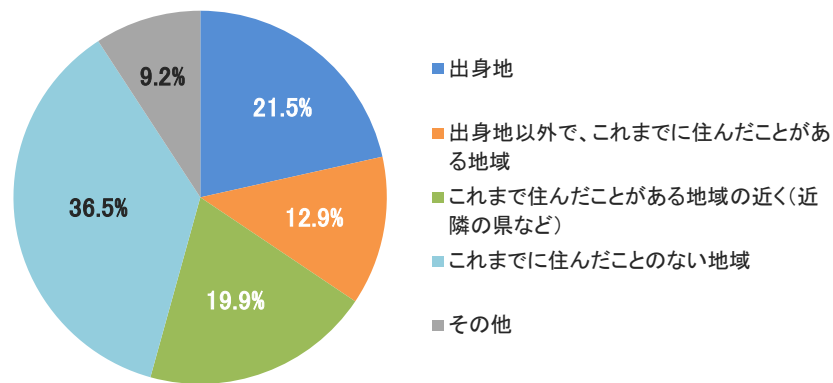


図 4-5 地方への居住を考えた場合に住みたい地域（回答者数：1,214名）

- Q19において、「検討している」、「関心がある」、「どちらともいえない」と回答した人を対象に、地方に居住する場合の居住の仕方について聞いたところ、「都会に居住し続けるものの、季節に応じて地方に居住する」、「都会に居住し続けるものの、一定期間（週末、夏休みのみ等）は地方に居住する」等の**多地域居住を選択した人の割合が、約42%と最も高くなっている。**
- 年代別に見ると、**高齢になるほど「都会に居住し続ける」選択肢を選ぶ傾向が強い。**また、若年になるほど「数年間地方に居住し、いずれは生活が便利な都会に戻る」の割合が高まっており、**若年層では地方への居住に関心があるものの、便利な都会の生活へのニーズも高いこと**が推察される。
- 一方、全ての年代で「完全に地方に居住し、今の居住地（都市部）には戻らない」を選択した人も2割弱いることが分かった。

Q21. 地方に居住する場合の居住の仕方（単回答）

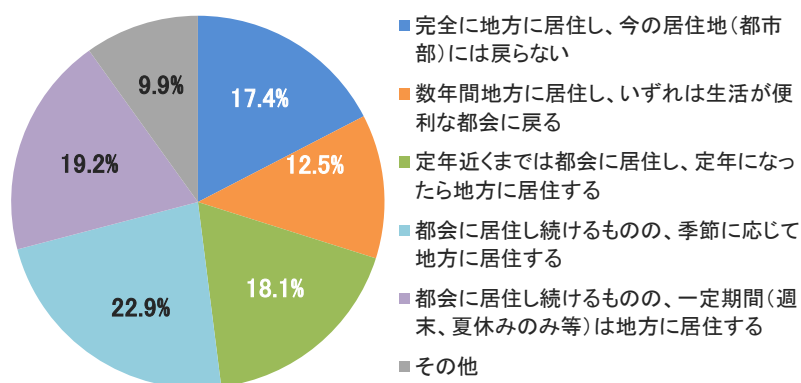


図 4-6 地方に移住する場合の居住の仕方（回答者数：1,214名）

【年代別】地方に移住する場合の居住の仕方

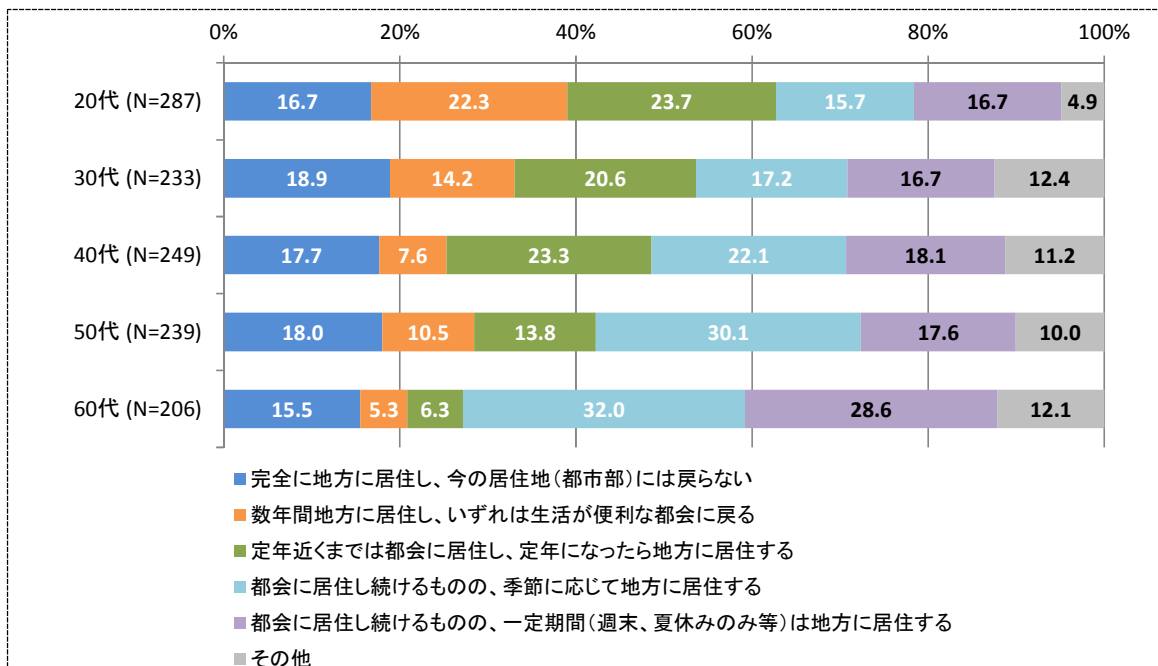


図 4-7 年代別 地方に移住する場合の居住の仕方（回答者数計：1,214名）

- Q19において、「検討している」、「関心がある」、「どちらともいえない」と回答した人を対象に、地方に居住する場合、同居するつもりの人を聞いたところ、「配偶者」が49.3%と最も多い。一方、「1人暮らし」を選択した人も20.2%と、多くなっている。

Q22. 地方に居住する場合、同居するつもりの人（単回答）

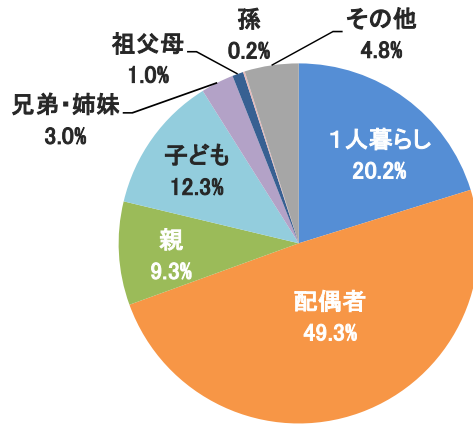


図 4-8 地方に居住する場合同居するつもりの人（回答者数：1,214名）

- 地方に居住する際の課題や、自治体に求める支援・対策について聞いたところ、「十分な収入の確保」、「仕事の確保」がそれぞれ回答割合が50%超と高い。
- Q7では現在約65%の人が働いていると回答していることから、**現在と同等の収入を確保できるかどうか**が、**地方で居住する上で重要な条件となっている**と考えられる。

Q23. 地方に居住する際の課題、また地方への居住を実現するために自治体に支援・対策をしてほしいと思うこと（複数回答）

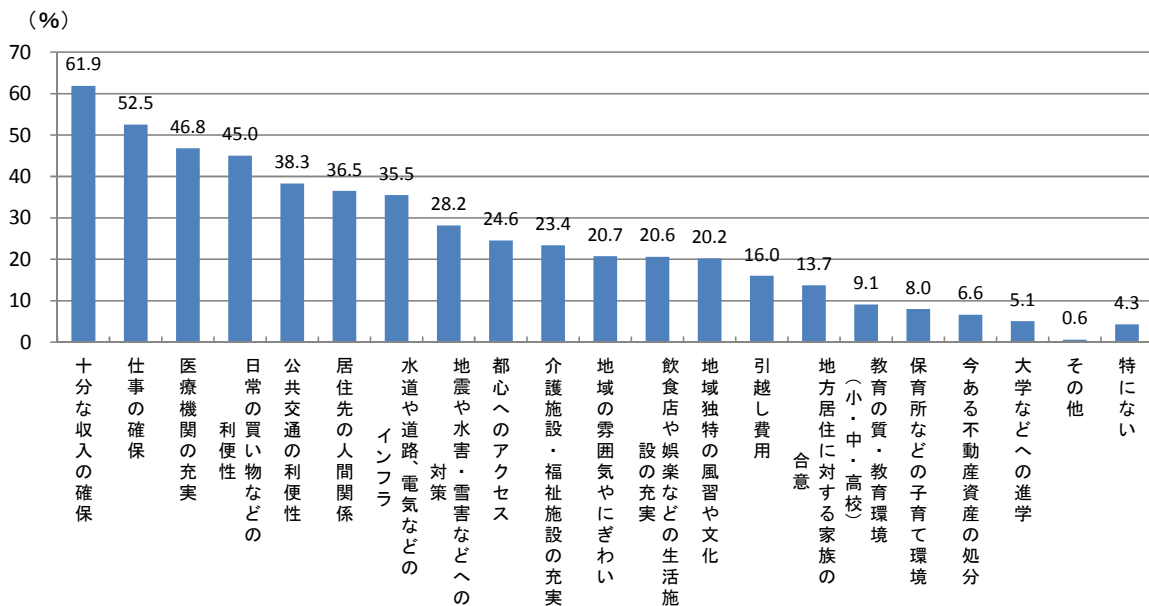


図 4-9 地方居住の際の課題、また実現するために自治体に支援・対策をしてほしいこと（回答者数：1,214名）



## 5. 北陸および富山市への居住意向

- Q19において、「検討している」、「関心がある」、「どちらともいえない」と回答した人を対象に、北陸地方への居住意向を聞いたところ、「検討している・検討したい」、「関心がある」を合わせた割合は約41%であった。**地方での居住意向がある人においては、北陸地方も十分居住先の候補になると考えられる。**
- また、年代別に見ると、**若年ほど「検討している・検討したい」、「関心がある」の割合が高くなっている。**

Q24. 北陸（富山県、石川県、福井県）への居住意向（単回答）

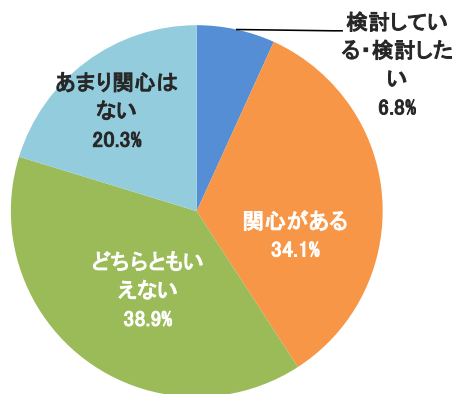


図 5-1 北陸への居住意向（回答者数：1,214名）

【年代別】北陸への居住意向

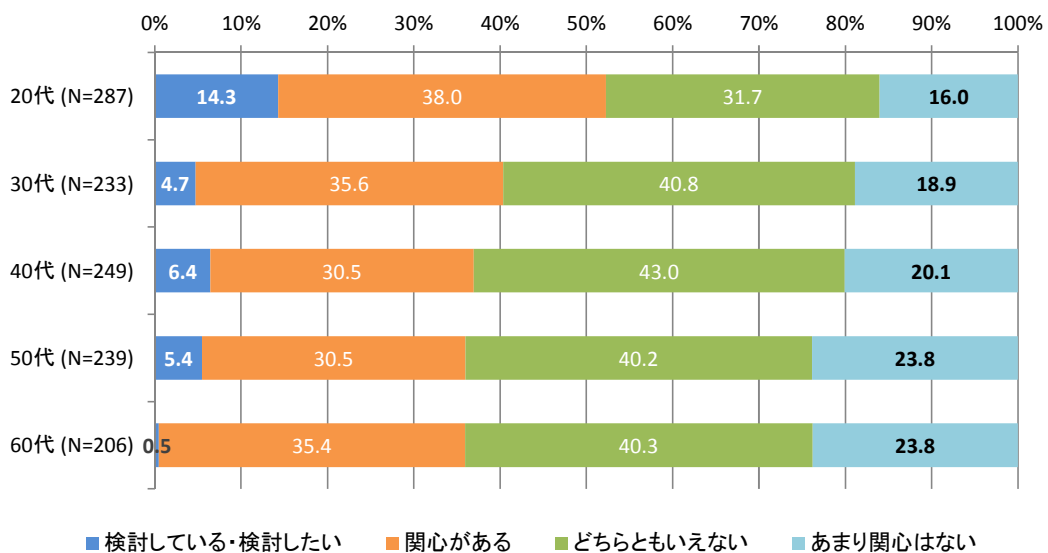


図 5-2 年代別 地方に移住する場合の居住の仕方（回答者数計：1,214名）

- Q24で、「検討している」、「関心がある」、「どちらともいえない」と回答した人を対象に、**北陸のどの地域で住みたいか聞いたところ、「富山市（富山県）」が49.6%と最も多くの回答を得た。**
- 次いで「金沢市（石川県）」となっており、北陸3県の中では富山市と金沢市が突出している。
- **首都圏居住者の方が関西圏居住者より、富山市への居留意向が相対的に高い。**

Q25. 北陸（富山県、石川県、福井県）への居住を考えた場合住みたい地域（複数回答）

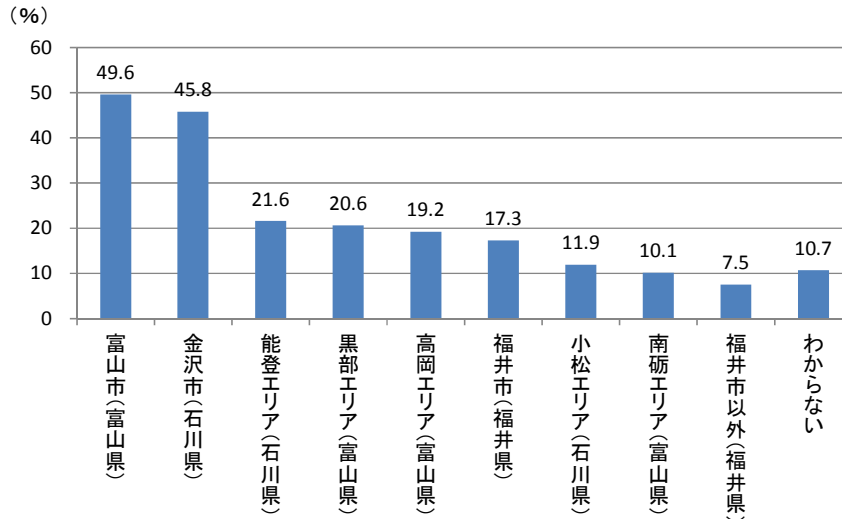


図 5-3 北陸への居住を考えた場合住みたい地域（回答者数：496名）

【首都圏・関西圏別】北陸（富山県、石川県、福井県）への居住を考えた場合住みたい地域

[首都圏]

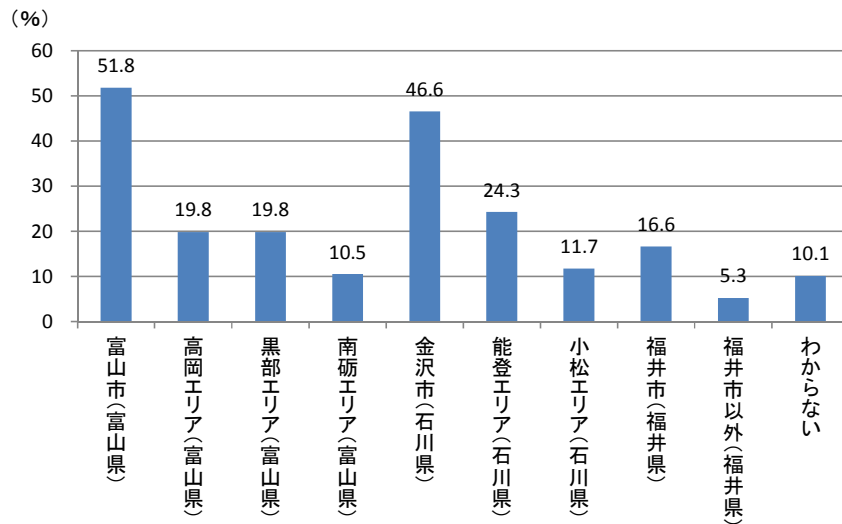


図 5-4 北陸への居住を考えた場合住みたい地域  
[首都圏]（回答者数：247名）

[関西圏]

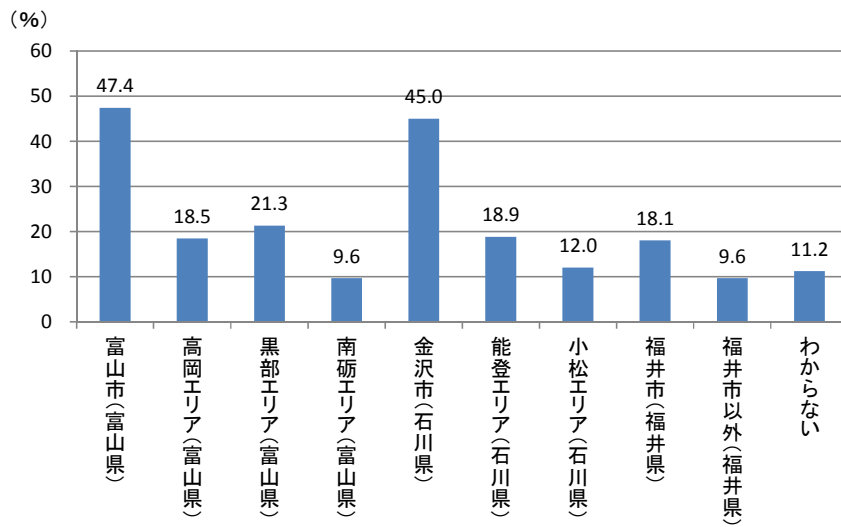


図 5-5 北陸への居住を考えた場合住みたい地域  
[関西圏] (回答者数 : 249名)

- Q25で富山県内のエリアを選択した人を対象に、富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方を聞いたところ、「パンフレットの配布」、「居住希望者向け特設ポータルサイト」の回答割合が高くなっている。

Q26. 富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方 (複数回答)

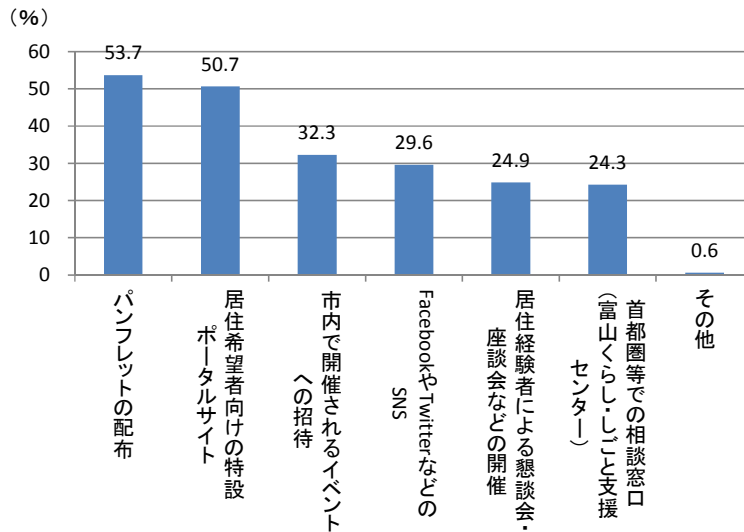


図 5-6 富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方  
(回答者数 : 341名)

- 富山市への訪問経験別に希望する情報発信の仕方について見ると、**訪問経験が少ない人では「パンフレットの配布」や「居住希望者向け特設ポータルサイト」の割合が高い傾向がある。**一方、**訪問回数が4回以上の人や以前住んでいた人では「首都圏等での相談窓口（富山暮らしごと支援センター）」の回答割合が高くなっている。**

【訪問経験別】富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方

[訪れたことはない]

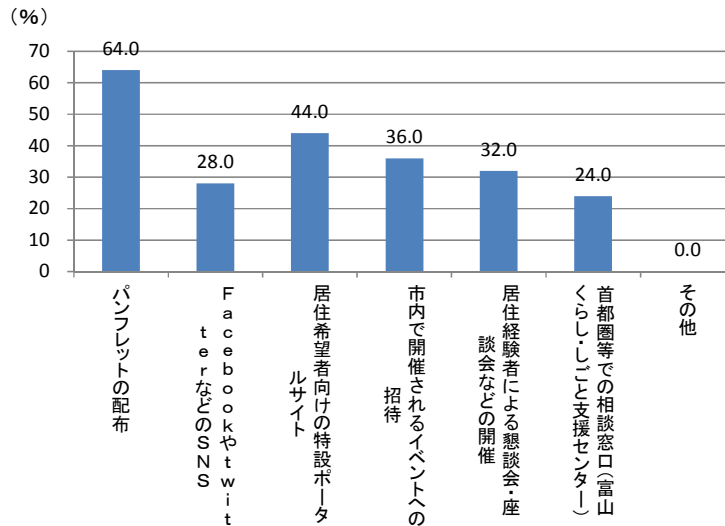


図 5-7 訪問回数別富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方  
[訪れたことはない] (回答者数：25名)

[1回訪れたことがある]

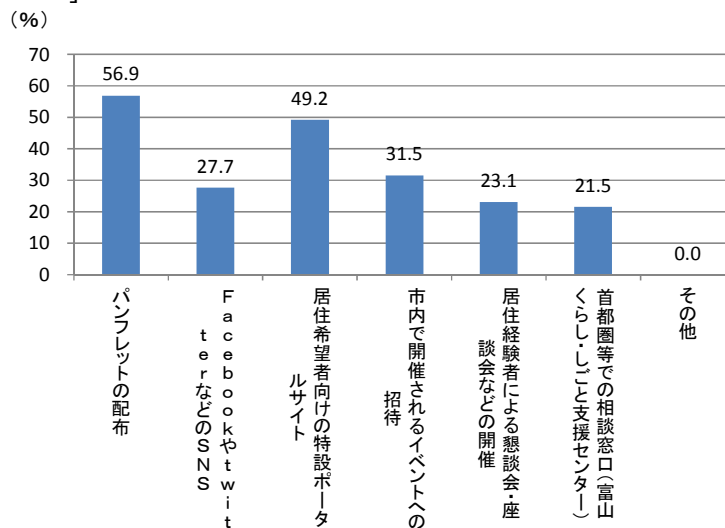


図 5-8 訪問回数別富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方  
[1回訪れたことがある] (回答者数：130名)

[2～3回訪れたことがある]

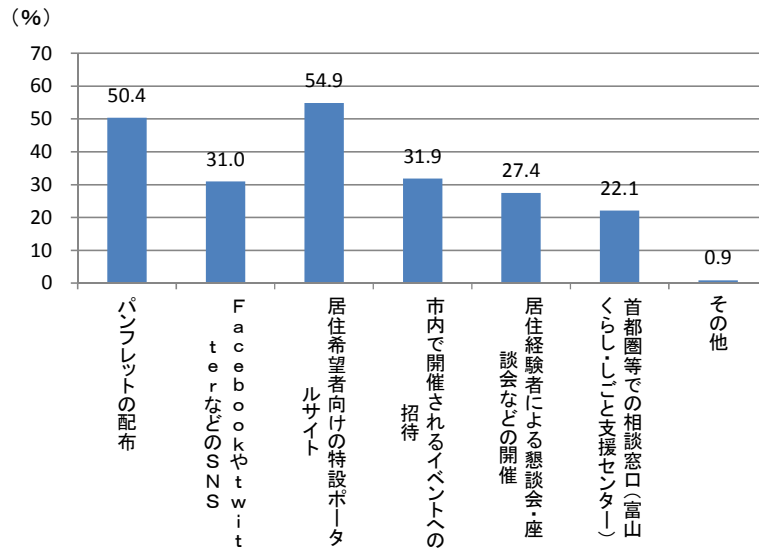


図 5-9 訪問回数別富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方  
[2～3回訪れたことがある] (回答者数：113名)

[4回以上訪れたことがある]

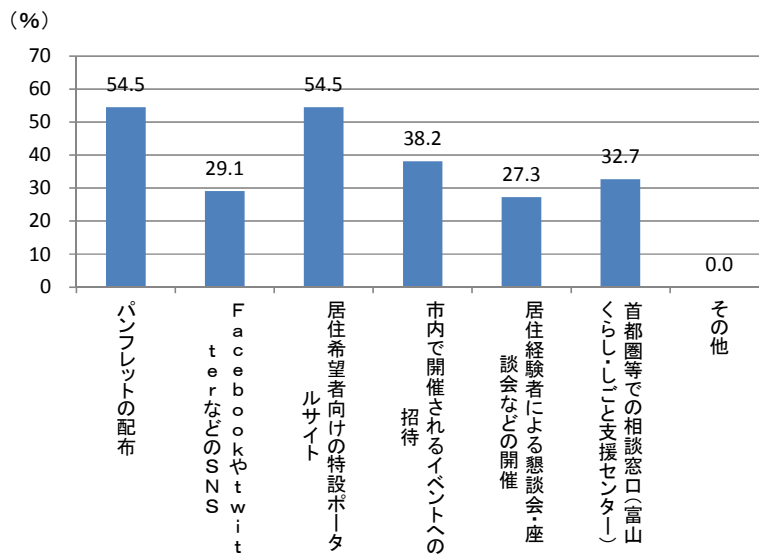


図 5-10 訪問回数別富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方  
[4回以上訪れたことがある] (回答者数：55名)

[以前自分自身が住んでいた]

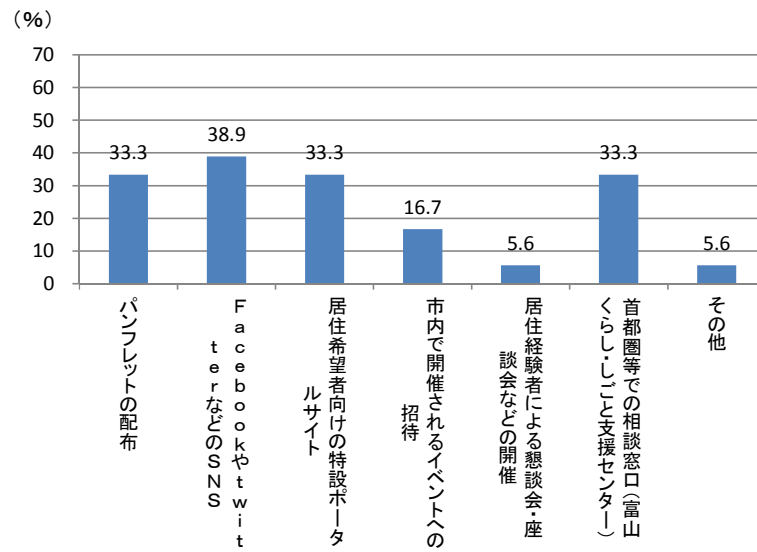


図 5-11 訪問回数別富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方  
[以前自分自身が住んでいた] (回答者数：18名)

- 年代別に求める情報発信の仕方を見ると、いずれの年代でも「パンフレットの配布」や「居住希望者向け特設ポータルサイト」の回答割合が高い中で、20代では「FacebookやtwitterなどのSNS」、30代では「市内で開催されるイベントへの招待」、40代～50代では「首都圏等での相談窓口（富山くらしごと支援センター）」の回答割合が高くなっている。
- それぞれ求める情報発信の仕方に異なる傾向があることから、**移住・定住促進に向けてはターゲットを見据えるとともに複合的な施策が必要である。**

【年代別】富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の仕方

[20代]

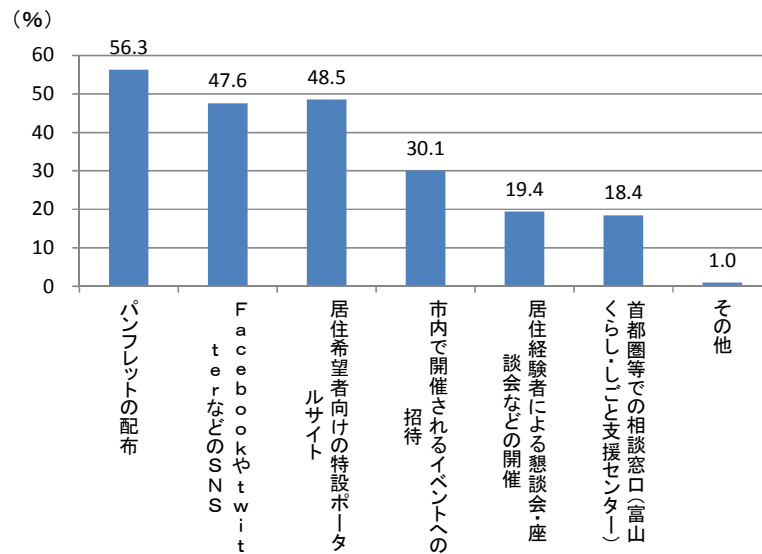


図 5-12 富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の形  
[20代] (回答者数 : 103名)

[30代]

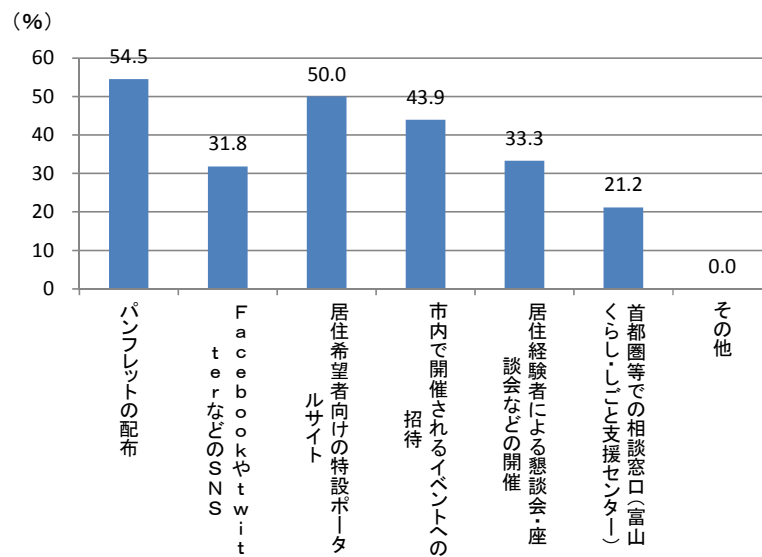


図 5-13 富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の形  
[30代] (回答者数 : 66名)

[40代]

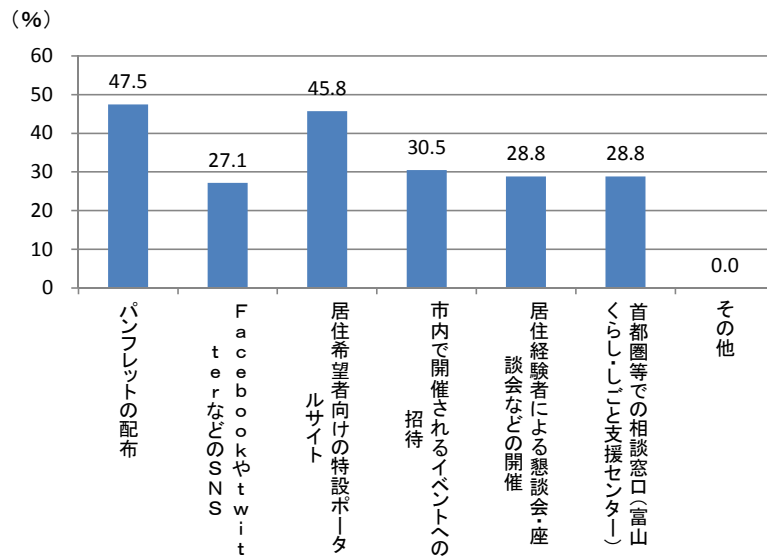


図 5-14 富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の形 [40代] (回答者数 : 59名)

[50代]

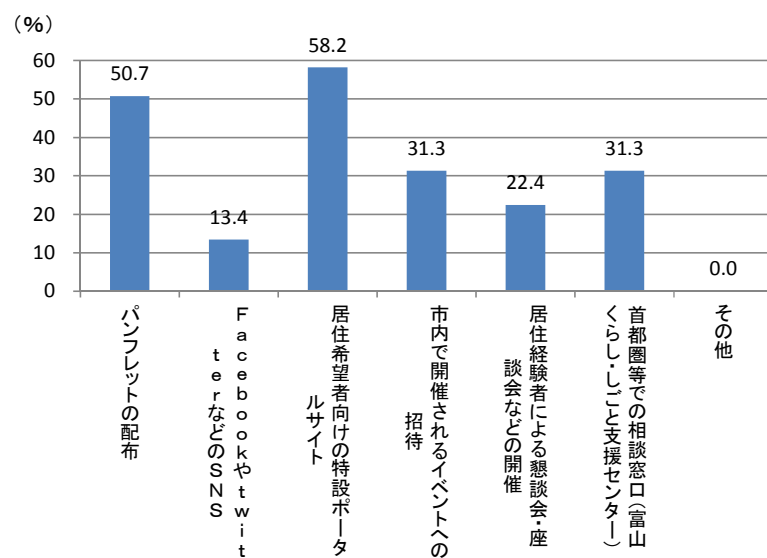


図 5-15 富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の形 [50代] (回答者数 : 67名)



[60代]

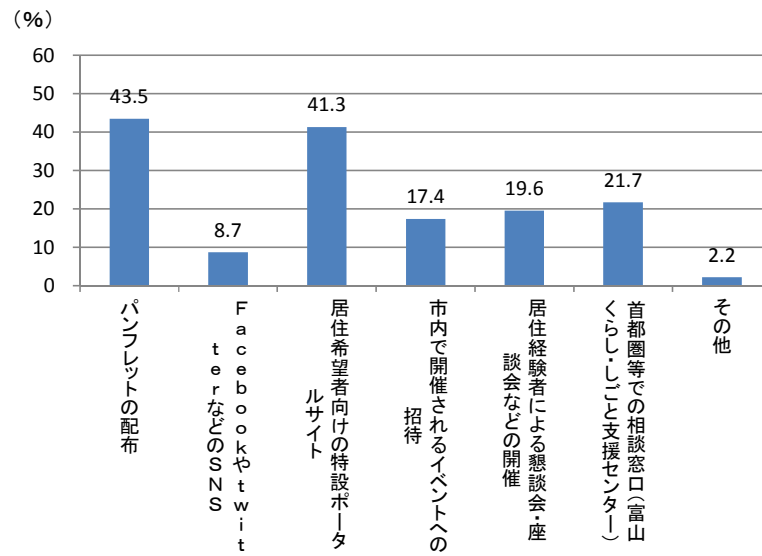


図 5-16 富山県への居住をより具体的に検討していく中で希望する情報発信の形  
[60代] (回答者数 : 46名)

## <参考資料> 富山市市外住民アンケート設問一覧

[回答形式] SA：単回答 / MA：複数回答

設問番号	設問項目	回答対象	回答形式	選択肢
1 (事前調査)	あなたは現在おいくつですか。	全員	-	※直接年齢を記入 ⇒20代・30代・40代・50代・60代の各年代を均等に抽出
2 (事前調査)	あなたの性別を教えてください。	全員	SA	1 男性 2 女性 ⇒男女を均等に抽出
3 (事前調査)	あなたのご結婚されていますか？	全員	SA	1 未婚 2 既婚 3 死別 4 離別
4 (事前調査)	あなたにはお子さんはいらっしゃいますか。	全員	SA	1 子どもがいる 2 子どもはいない
5 (事前調査)	あなたは現在どちらにお住まいですか。	全員	-	※都道府県単位で把握する ⇒首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)、 関西圏(大阪府、京都府、兵庫県) 各都市圏から均等に抽出
(事前調査)	あなたは富山県を訪れたことがありますか。	全員	SA	1 以前住んでいたことがある(親族含む) 2 訪れたことがある 3 訪れたことはないが、位置を知っている 4 訪れたことはないし、あまりよく知らない ⇒「1」もしくは「2」を選択した人を抽出
6	あなたの出身地はどちらですか。	全員	-	※都道府県単位で回答
7	あなたの現在のおつとめ状況を教えてください。	全員	SA	1 会社員、公務員、団体職員 2 派遣社員、契約社員 3 自営業 4 パート・アルバイト 5 学生 6 専業主婦(夫) 7 今は働いていない 8 その他
8	あなたは現在どのような方と同居されていますか。	全員	MA	1 1人暮らし 2 配偶者 3 親 4 子ども 5 兄弟・姉妹 6 祖父母 7 孫 8 その他

設問番号	設問項目	回答対象	回答形式	選択肢
9	あなたは富山市を訪れたことがありますか。	全員	SA	1 訪れたことはない 2 1回訪れたことがある 3 2～3回訪れたことがある 4 4回以上訪れたことがある 5 以前自分自身が住んでいた
10	主な来訪目的をお答えください。複数回訪れたことがある方は、最も回数の多い来訪目的をお選びください。	10で「2～4」と回答した人	SA	1 観光 2 学校の関係 3 仕事の関係 4 友人・知人を訪ねるため 5 家族・親族を訪ねるため 6 その他
11	あなたは「富山市」に対してどのようなイメージを持っていますか。1～12について、どのようなイメージを持っているかそれぞれお答えください。また、これらの他に具体的にイメージがある場合には具体的に回答してください。	10で「2～5」と回答した人	SA	1 住宅や道路などの居住環境がよい 2 日常の買い物などが便利である 3 公共交通が便利である 4 空港や新幹線などが利用しやすい 5 保育所などが充実しており子育てしやすい 6 教育の質が高い 7 自然が豊かで空気や水がおいしい 8 農・漁業資源が豊かである 9 防災対策がしっかりしている 10 にぎわいがあり、地域の雰囲気が良い 11 観光資源が豊富で見どころが多い 12 地域に伝統や歴史が根付いている 13 その他(具体的に)※自由記述 表側(1) そう思う 表側(2) そう思わない 表側(3) 特にイメージはない
12	あなたは今後、富山市を訪れてみたいと思いますか。	全員	SA	1 ぜひ行ってみたい 2 機会があれば行ってみたい 3 どちらともいえない 4 あまり行きたいと思わない 5 行きたいとは思わない
13	富山市のどのような場所を訪れたいと思いますか。	13で「1～2」と回答した人	MA	1 美術館・博物館 2 城址 3 公園・動物園 4 スポーツ・レジャー施設 5 自然(山、高原) 6 自然(川、滝) 7 自然(海、海岸) 8 温泉 9 寺社・仏閣 10 伝統的な集落 11 商業施設 12 展望台・展望スポット 13 飲食店(海鮮などの特産物、伝統料理など) 14 飲食店(B級グルメなど)

設問番号	設問項目	回答対象	回答形式	選択肢
				15 農産物の直売所 16 その他(具体的に)※自由記述
14	富山市でどのような体験をしてみたいと思いますか。	13で「1～2」と回答した人	MA	1 料理体験(ますのすし、細工かまぼこなど) 2 ガラス細工体験(吹きガラスなど) 3 絵付け体験(土人形絵付けなど) 4 陶芸体験 5 果物狩り 6 農業体験(農園・里山) 7 漁業体験 8 天体観測 9 森林浴 10 温泉 11 キャンプ・バーベキュー 12 アドベンチャーアクティビティ(ジップラインアドベンチャー立山、ラフティング) 13 山岳スポーツ(登山、トレッキングなど) 14 マリンスポーツ(ヨット、ジェットスキーなど) 15 ウィンタースポーツ(スキー、スノーボードなど) 16 ロードスポーツ(マラソン、サイクリング) 17 イベントや祭りへの参加(おわら風の盆など) 18 ガイドツアーへの参加 19 その他(具体的に)※自由記述 20 特になし
15 16	富山市までの移動には、どのような交通手段を利用するつもりですか。	13で「1～2」と回答した人	SA	1 鉄道・新幹線 2 飛行機 3 自動車 4 バス 5 その他
17	北陸新幹線の開業前後で、富山市を訪れたいと思う気持ちに変化はありましたか。	全員	SA	1 行きたい気持ちが強まった 2 気持ちに変化はなかった
18	あなたは多地域居住(マルチハビテーション)についてどのようにお考えですか。現在のお気持ちに最も近いものをお選びください。  (補足文)多地域居住とは、都会に暮らしながら週末や夏休みなどを地方で過ごす暮らし方を言います。現在全国の様々な地域が、マルチハビテーション(多地域居住)ライフを実践される方を対象とする支援制度等を整えています。例えば富山市では、富山市のまちなかで住宅を建設又は購入された方を対象に補助を行っています。	全員	SA	1 検討している・検討したい 2 関心がある 3 どちらともいえない 4 あまり関心はない

設問番号	設問項目	回答対象	回答形式	選択肢
19	多地域居住も含め、あなたは地方への居住についてどのようにお考えですか。現在のお気持ちに最も近いものをお選びください。	全員	SA	1 検討している・検討したい 2 関心がある 3 どちらともいえない 4 あまり関心はない
20	地方に居住することを考えた場合、どのような地域に住みたいですか。現在のお気持ちに最も近いものをお選びください。	19で「1～3」と回答した人	SA	1 出身地 2 出身地以外で、これまでに住んだことがある地域 3 これまで住んだことがある地域の近く(近隣の県など) 4 これまでに住んだことのない地域 5 その他
21	地方に居住する場合、どのような居住の仕方をお考えですか。現在のお気持ちに最も近いものをお選びください。	19で「1～3」と回答した人	SA	1 完全に地方に居住し、今の居住地(都市部)には戻らない 2 数年間地方に居住し、いずれは生活が便利な都会に戻る 3 定年近くまでは都会に居住し、定年になったら地方に居住する 4 都会に居住し続けるものの、季節に応じて地方に居住する 5 都会に居住し続けるものの、一定期間(週末、夏休みのみ等)は地方に居住する 6 その他
22	地方に居住をする場合、どなたと一緒に居住するつもりですか。	19で「1～3」と回答した人	MA	1 1人暮らし 2 配偶者 3 親 4 子ども 5 兄弟・姉妹 6 祖父母 7 孫 8 その他
23	地方に居住する際に、どのようなことが課題になると思いますか。また、地方への居住を実現するために、受け入れ先の自治体に支援してほしい・対策してほしいと思うことはなんですか。(それぞれあてはまるものを複数選択)	19で「1～3」と回答した人	MA	1 仕事の確保 2 十分な収入の確保 3 公共交通の利便性 4 都心へのアクセス 5 水道や道路、電気などのインフラ 6 医療機関の充実 7 介護施設・福祉施設の充実 8 保育所などの子育て環境 9 教育の質・教育環境(小・中・高校) 10 大学などへの進学 11 日常の買い物などの利便性 12 飲食店や娯楽などの生活施設の充実 13 地震や水害・雪害などへの対策 14 地域の雰囲気やにぎわい 15 居住先の人間関係 16 地域独特の風習や文化 17 引越し費用

設問番号	設問項目	回答対象	回答形式	選択肢
				18 地方居住に対する家族の合意 19 今ある不動産資産の処分 20 その他(具体的に)※自由記述 21 特になし
24	北陸(富山県、石川県、福井県)への居住について、あなたはどのようにお考えですか。(都会に暮らしながら、週末や夏休みなどを地方で過ごす多地域での居住も含む)	19で「1～3」と回答した人	SA	1 検討している・検討したい 2 関心がある 3 どちらともいえない 4 あまり関心はない
25	北陸(富山県、石川県、福井県)のいずれかに居住することを考えた場合、どこに住みたいと思いますか。 都会に暮らしながら、週末や夏休みなどを地方で過ごす多地域での居住も含め、あてはまる地域を全てお選びください。	24で「1～2」と回答した人	MA	1 富山市(富山県) 2 高岡エリア(富山県) 3 黒部エリア(富山県) 4 南砺エリア(富山県) 5 金沢市(石川県) 6 能登エリア(石川県) 7 小松エリア(石川県) 8 福井市(福井県) 9 福井市以外(福井県) 10 わからない
26	富山県への居住をより具体的に検討していく中で、どのような形で情報発信を希望しますか。	25で「1～4」と回答した人	MA	1 パンフレットの配布 2 FacebookやtwitterなどのSNS 3 居住希望者向けの特設ポータルサイト 4 市内で開催されるイベントへの招待 5 居住経験者による懇談会・座談会などの開催 6 首都圏等での相談窓口(富山くらし・しごと支援センター) 7 その他(具体的に)※自由記述